

モーリタニア月例報告
(2023年11月)

2023年12月
在モーリタニア日本国大使館

主な出来事

【内政】

- 11月 7日 ガズワニ大統領と地方議会議長の会談
- 11月20日 カーディリーヤ教団後継者の任命
- 11月27日 独立記念日に際する前夜のガズワニ大統領の国民への演説

【外政】

- 11月 5日 ヌアクショット及びジブチ・プロセスの活性化に関する会議の開会
- 11月11日 ガズワニ大統領のアラブ連盟・OIC緊急共同サミットにおける演説及び各国とのバイ会談
- 11月13日 カタール・ガザ復興委員会攻撃に関する非難声明
- 11月19日 メルズーグ外相とウクライナの中東・アフリカ特使との会談
- 11月24日 イスラエル・パレスチナ情勢（人道的休止合意に関するモーリタニア外務省プレスリリース）
- 11月27日 日モーリタニア関係（堀井外務副大臣とガズワニ大統領のバイ会談）
- 11月27日 ダカール国際フォーラムに際するガズワニ大統領の演説
- 11月29日 中国共産党中央対外連絡部代表団のモーリタニア訪問

【経済】

- 11月21日 石油・ガス・エネルギー会議「アフリカの新たな地平に向けたエネルギー機会の拡大」の開催
- 11月26日 F' Derick 鉱床開発プロジェクトの礎石式の開催

【文化】

- 11月25日 内田大使：モーリタニア柔道連盟主催の審判・コーチングセミナーへの参加

【内政】

●ガズワニ大統領と地方議会議長の会談（11月7日付当地政府系メディアAMI）

1. 11月7日、ガズワニ大統領は各地方議会の議長を招いた会議の中で、国民に寄り添い、地方議会の輪の中に常に国民が在ることを求めた。

2. 大統領は、地方議会の協議会実施を通じて、議会業務のパフォーマンス及び日々生じている課題について追求、研究することが可能となったと述べた。大統領は内務・地方分権省に、これらの協議会を実施し、伝統的なものとして定着させることで、権限移譲のための責任者のパフォーマンス向上及び彼らの能力を支援する強固な伝統を確立するよう指示した。

3. また地方議会の議長に、地方分権化と地方開発の促進を非常に重要視していることを念押しし、国土は広大であり、教育、健康、環境保護などの市民の地域的利益を首都から直接管理することはできず、地方開発には、地方問題の管理における市民の関与とエンパワーメントが必要であり、真の持続可能な開発は地元のガバナンスを通じてのみ達成できると付け加えた。さらに、地方分権と地方開発を定着させるために、制度的な監督、支援、権限の委譲に関する最大限の努力をする旨保証した。

4. 会議中、大統領は地方議会議長に、フォローアップ、評価により「共和国学校」に対して注意を払い、効果的な生態認証登録への貢献、牧畜ポテンシャルの維持、土地紛争の平和的解決に貢献するよう求めた。

5. 大統領は、地方議会の議長の発言に耳を傾け、地方分権化及び地方開発分野での国の経験を前進させるための手段について議論を行い、問題を解決するための努力を惜しまないと強調した。

6. 会談は、ジャイ（Mr. Moctar Ould Diay）大統領官房担当大臣及びレミン（Mr. Mohamed Ahmed Mohamed Lemine）内務・地方分権大臣の同席の下で行われた。

●カーディリーヤ教団後継者の任命（11月20日付当地独立系インターネットメディア「alwiam.info」）

1. 11月19日の夕方、モーリタニア南部のトラルザ州のニムジャットで、西アフリカのカーディリーヤ教団の後継者として、シェイフ・アブドルアジーズ氏

の就任が発表された。就任式には、モーリタニア、セネガル、西アフリカ諸国の代表が出席し、シェイフ・アブドルアジーズ新総長に忠誠を誓った。

2. シェイフ・アブドルアジーズ新総長は、就任式において、この任務は「彼にとって名誉であり、全能の神に助けを求める使命」であると発表し、ガズワニ・モーリタニア大統領に謝意を示しモーリタニア及び西アフリカにおけるスーフィ派カーディリーヤ教団の宗教的・教育的中心地として、ニムジャットが大きな注目を集めていることに謝意を表明した。

3. また、パレスチナの大義と、ガザ地区で起きている事象についてのモーリタニア政府の公的な立場、民衆の立場に改めて謝意を表明し、同じ文脈で、西アフリカ・カーディリーヤ教団もパレスチナの大義を支持し、関係する慈善団体を通じて、援助の手を差し伸べることを強調した。

4. さらに、同総長は、サル・セネガル大統領のカディリーヤ教団とその信者達への多大な配慮に謝意を表明した。

●独立記念日に際する前夜のガズワニ大統領の国民への演説

1. 国内外を問わず、皆様が誇り、威厳及び栄光を讃え、記念すべき独立63周年を迎えられたことを、心からお祝い申し上げます。

2. (1) これは、自由、正義、公平、進歩及び繁栄への新たな希望が生まれた記念日である。この希望は、我々の自由と国土の尊厳を守るために、我々の誇り高い国民のあらゆる部門から集まった英雄的な戦士と高名な学識者たちによって率いられた、軍事的・文化的な共同の抵抗から生まれたものである。

(2) 彼らの勇ましさと英雄的行動は、我々の集団的記憶に永遠に刻まれ、我々にとって、世代を超えて、栄光、魂の偉大さ、犠牲と忠誠に値する祖国への帰属の誇りというインスピレーションと価値の源泉となっている。

(3) これらの価値の記章は、我が軍隊と治安部隊を十分に鼓舞し、国の領土一体性、主権及び国民の安全を守るという崇高な使命における勇気の原因力と犠牲の意識を彼らに吹き込むものである。

(4) 将校、下士官及び兵士を問わず、集団としても個人としても、我が軍のすべての人々に対し、最大限の配慮と感謝の意を表す。

(5) この機会に、名誉の戦場で戦死した祖国のすべての殉教者を想起し、敬意を表したい。

3. (1) 国家と民族のルネッサンスと進歩の推進における最も決定的な要因の一つは、人間の意思の力と、その実現に必要な合理的手段が結びついた時の希望である。

(2) 創造的なエネルギーを解き放ち、集団的な努力を強化するのはこの要素であり、その結果、様々な実りあるイニシアティブが結集し、健全な競争が有益な行動を刺激し、技術革新が生産を増大させ、発展を加速させるのである。

4. (1) 我々の国の将来のビジョンにおいて、モーリタニア国民を開発活動の中心に据え、モーリタニア国民を主要な投資先とし、すべての公共政策の焦点としているのはこのためである。これらの政策が、最も脆弱で不安定な状況にさらされている国民を優先し国民に奉仕する強固な制度を備えた近代国家の確立に関するものであれ、強靱で新興的な経済の確立に関するものであれ、多様性に誇りを持ち自ら和解した社会の建設に関するものであれ、である。

(2) このビジョンの基礎は、原則においても目標においても、息子たちが帰属することを誇りに思い、祖国を守ることを名誉とし、その運営に全員が参加する祖国を築きたいという意味からきている。祖国とは、正義、安全、公平が支配する中で、国民の尊厳、自由、宗教的・文明的アイデンティティ、そして豊かで多様な文化遺産を保持し、進歩と繁栄の可能性、そして希望と願望を実現する機会を国民に提供するものである。

(3) このビジョンを適切に実現するための第一の条件は、安定と安全である。この条件は、暴力やテロリズムの台頭、地域や世界における政治的・社会的危機の蔓延にもかかわらず、我々が達成したものであり、賞賛に値するものである。この条件は、アッラーの御助けと皆さん一人ひとりの貢献なしには、また、我々の安全保障戦略を様々な側面から効果的に実施することなしには、達成することはできなかった。

5. (1) また、我々は、善隣、相互尊重、実りある建設的な協力、及び世界の人々の中の平和、安全、同胞愛の価値の堅持という原則に基づく積極的な外交を通じて、これを達成してきた。

(2) この点、我々は、抑圧された人々のものであると考えるパレスチナの大義や、聖地の神聖さや兄弟との連帯などの大義に対する我々の確固とした不変の支持を、妥協したり否定したりしない外交で行ってきた。

6. 安全保障に対する我々の懸念は、最も所得の低い最も脆弱な立場にある市民を支援するという我々の不変の原則に従って、様々な形態の不正義、疎外、排除、貧困、不安をきっぱりと払拭するという我々の決意によってのみ達成される。

7. (1) これらの現象に対処するため、我々は、貧困、脆弱性、疎外や排除に最もさらされている市民に対する支援を加速・強化し、彼らの生活環境の悪化を防ぎ、強靭性を強化するために、様々なメカニズムを通じた広範で多次元的な社会的セーフティネットを整備してきた。第二に、我々は、これらの容認しがたい現象の根底にある、構造的・制度的な経済的・社会的・政治的不均衡を是正し、その溝を埋める努力を倍加してきた。

(2) 世界を席卷し、経済を揺るがし、最も先進的で豊かな国々を含むすべての国々の開発プロジェクトや計画に疑問を投げかけた深刻な危機にもかかわらず、我々はこの2つの分野で非常に大きな成果を挙げることができた。

(3) 我々が導入したセーフティネットは、現金給付、食糧補助、健康保険、及び保健に関する便宜、特にがん・腎臓患者の医療や毎月の補助金など、受益者の数や支援の形態の多様化という点で拡大を続けている。過去4年間で、社会支出のコストは約6230億旧ウギアに達した。

(4) さらに、我々は、多くのプログラムを通じて、最も脆弱な立場の市民が土地を所有できるように努めてきた。最新の「新たな生活プロジェクト (Projet Nouvelle Vie)」では、第一段階として、9118世帯に完全整備された土地を割り当てるほか、建設が完了した乃至完成途上にある住宅2300戸を提供する。

(5) これらのすべての活動は、尊厳のあるきちんとした新たな生活という市民の正当な願望の実現に貢献することを目的として実施されている。

(6) 完全に効果的な社会保護制度の確立には大きな成果があったとはいえ、まだ多大な努力が必要である。しかし、それを達成するためのビジョンは存在し、決意と意志の強さがそこにある。この社会建設の基礎は築かれており、形になり始めたその建造物は、アッラーの助けとすべての人の努力のおかげで完成するであろう。

8. しかし、社会的支援のレベルがどのようなものであれ、これらの現象の主な原因、すなわち制度的・政治的ガバナンスや社会的・経済的ガバナンスにおける構造的な不均衡に取り組むための積極的かつ効果的な行動が伴わない限り、貧困、不安定、格差、排除の問題に対する永続的な解決策にはなり得ない。

9. これらの不均衡を是正するため、我々は権力分立の原則を確立し、定着させるべく努力してきた。また、我々は、司法制度改革にも注力してきた。なぜなら司法は法の支配に基づく国家の主要な柱だからである。このため、我々は現在、司法の近代化とその独立性の強化のため、司法制度改革に関する諮問文書の実

施に取り組んでいる。

10. (1) 我々はまた、誰に対してもオープンであること、対話と協議を行うことを、公務を管理するアプローチにおける戦略的な選択としてきた。これにより我々は、責任と尊重という一般的な枠組みの中で表明され得る相違を予断することなく、基本的なことについての合意を優先することを是認することができた。

(2) 特に政治勢力を始めとして、皆さん一人一人が、かつての政治シーンの特徴づけていた危機や緊張を超越しようとする反応と意欲を発揮してくれたおかげで、このようなアプローチにより政治的生活を落ち着かせることが可能になった。

(3) この平穏は、我々の社会的結束と国民的団結を強め、世界が最近経験した破壊的な危機から我々を守り、少なくとも、我々が受ける被害を可能な限り小さくするのに役立った。

(4) また、様々な政治勢力間の協議により、国民議会、州議会、市町村議の選挙を、それらを規定する規則と実施方法につき完全なコンセンサスに基づいて実現することも可能になった。

(5) 我々はまた、すべての利害関係者を公務運営に参加させ、地方分権を強化し、比例代表制を強化して代表の裾野を広げ、新しい選挙人名簿を制定して、若者や特別な支援を必要とする人々が議会で代表されるようにし、公正さと、あらゆる形態の疎外、不正、排除の否定に努めた。

11. (1) 同様に、我々は、個人的・集団的自由を強化し、否定的な社会的固定観念と闘い、シャリーアの戒律や法の要件に反し、近代国家の概念と相反する、社会的結束や国民統合に有害な精神性や慣行を排除する必要性を主張してきた。

(2) 我々はまた、適切な法的手段や、この分野で批准された国際条約と法律を調和させるためのロードマップを通じて、人身売買対策国家計画の実施に取り組むとともに、人権分野で活動する市民社会組織の能力構築によって、人権に反するあらゆる行為と闘ってきた。

12. (1) これらすべての成果と並行して、公共調達システムの改革、税制の簡素化と近代化、制度化・厳格化・継続性に基づく腐敗との闘いへの新たなアプローチの採用など、経済ガバナンスの分野で膨大な改革努力がなされてきた。これにより、公共支出に対する管理のレベルを向上させ、社会的プロジェクトやプログラムへの資金供給を促進する一方、債務残高対GDP比を2019年の70%から2022年には43%まで引き下げる努力を支援するため、借入金へ

の依存を削減することが可能となった。

(2) これらの賢明な経済的選択により、我が国経済は回復基調を取り戻し、新型コロナウイルス危機とロシア・ウクライナ戦争の影響による損害を可能な限り最小限に抑えることができた。これは、2022年に6.4%のGDP成長率を記録し、2024年には6.8%に達する見込みであることが証明している。

(3) 同時に、インフレ抑制の努力も続けており、2022年の約11%から本年末には4.5%まで低下する見込みである。

13. これらの改革により、重要な経済バランスを維持することが可能になっただけでなく、水、電気、教育、保健といった基本的なサービスへのアクセスが量的にも質的にも改善された。

14. 飲料水へのアクセスは72.33%に達し、網羅的ではないが以下を含む多くの主要プロジェクトで作業が進展した。

- アラファト (Arafat)、トゥジュニン (Toujounine)、リヤド (Riyad) 及びエル・ミナ (El Mina) 県のいくつかの地区で配水網を拡張するプロジェクト
- アフトゥート・シャルギ (Aftout Charghi) 飲料水供給プロジェクトの第2フェーズ
- ワラタ (Oualata) 市にダハール (Dhar) から飲料水を供給するプロジェクト
- アイウン (Aioun) 及びジグエニ (Djiguenni) 市にダハールから飲料水を供給するプロジェクト
- キファ (Kiffa) 市とその近隣地区にダハールから飲料水を供給するプロジェクト
- ヌアディブ (Nouadhibou) の水問題に対する、ブルノワール (Boulenoir) と海水淡水化プラントからの決定的な解決策の模索
- ボゲ (Boghe) とエル・ガイラ (El Ghayra) の間の156の村とコミュニティに川の水を供給するプロジェクトの近々の開始

同様に、独立以来初めて、政府は現在ヌアクショット市で大規模な浄化プロジェクト立上げに着手している。

15. (1) 電力へのアクセス率は都市部で91.8%、全国で56%に達しており、アクセスを改善するために、いくつかの構造的プロジェクトが実施されている。

そのような中、以下のプロジェクトが完了した。

- セリバビ・モンゲル・ムブート (Selibaby-Monguel-M' Bout) の三角地帯をカバーする、アフトゥート東部地域における農村電化プロジェクト

- ブルヌアールにおける100MW風力発電プロジェクト
- ヌアクショット・ヌアディブ間の第2回路の設置
- トラルザ (Trarza) 州にある22の村の電化プロジェクト
- ヌアクショット-クール・マセヌ (Keur-Macene) 間の225KV送電線プロジェクト

(2) また、50の県における発電所強化プロジェクトも進展があった。

(3) 以下のプロジェクトも進行中である。

- トラルザ (Trarza)、ブラクナ (Brakna)、ゴルゴル (Gorgol) 及びギディマガ (Guidimagha) の各州でネットワークを3,000km延長するプロジェクト
- 2つのホード (Hodhs) 州とアッサバ (Assaba) 州で、ハイブリッド・ステーションと独立配電網の建設を通じて農業・牧畜地域に電化を行うプロジェクト
- ブラクナ及びトラルザ州における46の村に電化を行うプロジェクト

(4) カエディ・レクセイバ・ンブト・セリバビ・ベディアン・ディアギリ・グライエ・マガマ・カエディ (Kaedi-Lekseiba-M' Bout-Selibaby-Bediam-Diaguili-Gouraye-Maghama-Kaedi) の中圧電線ループ・プロジェクトはまもなく開始される。

(5) さらに、ヌアクショットとネマ (Nema) を結ぶ高圧線の建設にも資源を動員している。グリーン水素開発のためのロードマップも完成しつつある。

16. (1) 2019年と比較して教員数が79%増加したこと、3600教室の建設による学校インフラの拡大、学校食堂の数が140%増加し、食堂のある学校数が2019年の512校から2023年には1379校となったことなどにより、教育サービスへのアクセスは量的にも質的にも向上した。

(2) これらの改善はすべて、昨年開始された共和制学校プロジェクトに象徴される、教育制度の包括的かつ広範囲に及ぶ改革の一環として達成されたものであり、これにより子供たちは、職業生活に積極的かつ効果的に従事する資格を若者に与える効果的な教育サービスから、平等な条件の下で恩恵を受けることができる。

(3) 若者は国家の野心、希望、創造的エネルギーの力である。だからこそ我々は、彼らが真の発展の担い手としての役割を果たせるようにするための努力を惜しまない。だからこそ我々は、様々な意思決定の場における若者の存在感を高める努力を惜しまなかったし、今後も継続する。

(4) 研修、資格取得、積極的な職業生活へのアクセスに加えて、我々は職業訓練を支援し、その数を増やしたセンターや研究所のほか、エネルギー、石油、ガス分野の高等専門教育機関である高等商業学校、高等デジタル学校、高等職業訓練・技術教育学校を発展させてきた。

(5) 1. 1万人の学生を収容できる新しい大学施設も建設され、UAEの援助により、トゥジュニンに科学分野の大学を建設中である。

(6) 我々はまた、雇用創出、及び収入を生み出すプロジェクトへの資金援助も強化している。今年だけで1.1万人の若者を訓練して資格を与え、約8500人の若者に継続教育を提供することができた。

17. (1) 病院、保健センター、ヘルスポストなどの保健インフラも整備され、アタル(Atar)とセリバビにそれぞれ150床を収容する2つの地域病院を建設・設備する工事が完了したほか、アイウン、アレグ(Aleg)、ティジクジャ(Tidjikja)の3つの地域病院で工事が進み、専門医療センターを拡張・設備する工事も完了した。

(2) 医療スタッフの訓練とレベルアップ、医療用品と医薬品の確保にも力を入れている。インフォーマル・セクターのための保健連帯公庫も発足した。

18. (1) すべての基本的なサービスの発展には近代的な道路インフラが必要であることから、この分野でも多大な努力を払い、700km以上のアスファルト道路を完成させ、その他多くのインフラ・プロジェクトを進展させた。

(2) ティジクジャ-オールド・イエンゲの道路工事は進行中であり、アタル-シンゲッティ(Chinguetti)間とサワタ(Sawata)-モンゲル(Monguel)-バルケオル(Barkeol)間の道路工事は今後数週間から数か月のうちに開始予定である。ヌアクショットでは、都市交通の流れを改善する大規模プロジェクトも開始された。バマコ橋の工事は年内に完了し、エル・ヘイ・エッサケン(El Haye Essaken)、マドリード、ロソの各橋は2024年末までに完成する予定である。

19. これらの実績と並行して、生産部門を発展させるための統合的な政策の立案と継続的な実施により、米の自給率89%を達成し、穀物生産量を2019年比で42%増加させ、8854ヘクタールの農地を整備し、197kmの水路を建設し、僻地の生産地開発と電化をすることができた。

20. 動物衛生に割り当てられた予算も大幅に増額された。畜産部門を支援する大規模で野心的なプロジェクトが実施され、漁業資源の持続可能性を維持し、国家経済流通経路への統合を確実にするため、グッド・ガバナンスを強化し、漁業資源を最適化する政策が採択された時期に、この部門を振興のするための基金がアクティベートされた。

21. (1) 鉱業部門もまた、経済発展の中心的役割を担うことから、極めて重

要視されている。

(2) このため、2030年までに生産量を増加させることを目的とした産業・鉱業公社(SNIM)の開発計画を策定し、実施した。この計画のおかげで、同社の生産量は本年、史上初めて1400万トンに達するはずである。

(3) また、フェデリック(F' derik)・プロジェクトの定礎が行われ、これにより同社の生産量は少なくとも200万トン増加することになる。さらに、ティジラガフ(Tiziraghaf) 鉱山についてもフィジビリティ・スタディが開始され、600万トンの生産能力が見込まれている。

(4) 現在、生産能力1100万トンのラエウェジ(Laewej) プロジェクトを立ち上げるべく、同社とパートナー数社との間で交渉が進められている。

(5) 社会の様々な層が砂金採取の富や、若者に提供する何千もの雇用機会を享受することができるような条件の下で、砂金採取活動を組織し、監督するための並々ならぬ努力が払われてきた。これらの努力は、産業ユニットの数と金の生産量の大幅な増加にもつながり、このセクターに有望な展望を開くことになった。

22. 以上のことから明らかなように、世界を震撼させた破壊的な危機と、我々が受け継いだ経済的・社会的・政治的状況にもかかわらず、我々はこの4年間、皆さん一人ひとりの努力のおかげで、非常に大きな成果を挙げる事ができた。

23. (1) 我々は安定と安全を享受し、経済状況は快適で、主要指標は、パートナーの大きな信頼に支えられたマクロ経済の均衡を反映している。そして、すべての見通しは、我々の願望を実現するための膨大な機会、特に、現在進行中の数十の主要プロジェクトが確実に提供する機会と、ガス資源の輸出の日が近づいていることを示している。

(2) しかし、その数が多く重要であればあるほど、これらの機会は、国民が十分な準備をし、十分な訓練を受け、資格を持ち、勤労と努力の価値観、自己犠牲と忍耐の美德を堅持する場合にのみ、真のインパクトを発揮することができる。

24. 自分は、我々の相互扶助と決意の強さのおかげで、現在の状況や生起しつつある有望な展望によってもたらされる様々な機会を最大限に活用し、我々が熱望する国家、すなわち友愛、連帯、正義、そして包括的で持続可能な開発の国家を共に築くことができると確信している。

自由で、独立した、繁栄するモーリタニア万歳。

皆さんにアッラーの平安と慈悲と祝福があらんことを。

【外政】

●ヌアクショット及びジブチ・プロセスの活性化に関する会議の開会（11月5日付当地政府系メディアAMI）

1. 11月5日、ヌアクショット及びジブチ・プロセスの活性化に関する会議がヌアクショットで開催され、20を超えるアフリカの国が参加した。アフリカ各国高官が出席する本会合は、サヘル、サハラ及びアフリカの角地域における平和と開発の促進を目的としている。

2. シディ (Mr. Hanana Ould Sidi) 国防大臣は、開会のスピーチで、AUによるこれら2つのプロセスの立ち上げは、テロリズム、過激主義、国境を越えた犯罪に対抗する観点から、安全保障と情報協力を強化することを目的としていると述べた。テロ集団から安全であったアフリカ諸国でもテロ集団の活動が活発化していたため、現在の状況は、これら2つのプロセス設立時取り巻いていた状況よりも複雑かつ困難であると強調し、さまざまな地域のアフリカ諸国が多くの危機に見舞われていることから、各地域内及び異なる地域間の治安・情報サービス間の連携と協力の強化が求められているとした。ガズワニ大統領が定めた指針に沿って、モーリタニアは、安全保障、国境管理、軍事能力構築及び軍事パートナーシップの開発・強化の分野における協力を強化することで、直面する課題に取り組んでおり、この2つの分野をより効率的で効果的なものにするために、この会議の成果を期待していると述べた。

3. セルジオ・バ (Mr. Sergio Ba) AU紛争管理局長兼報道官は、安全保障上の課題に取り組む上でこれら2つのプロセスの再始動を主導したAUに謝意を表明し、これらの課題に立ち向かうモーリタニアの役割を賞賛した。また、地域における状況の悪化に対処するためのメカニズムの立ち上げを検討する必要性を強調し、パートナーから提供された指針の有効性を指摘した。テロ組織の活動を制限するため、アフリカ各国間の活性化と統合を呼びかけた。

4. ザйнаブ・アリ・コトゴ (Ms. Zeinab Ali Kotogo) AU情報部門事務局長は、既存の課題に対応するため、これらの地域における治安強化の取り組みを強化する必要性を強調した。

5. 国防省のシディ (Mr. Hanana Ould Hanoon Ould Sidi) 対外・治安考察庁 (DGSED) 総局長は、サヘル地域及びアフリカの角地域の安全保障を確保するため、安全保障と開発のコンセプトを研究することの重要性を述べ、世界の他の地域から孤立しているわけではなく、多くの危機を経験しているこの地域の安全

保障を確保するための努力の調整に取り組む必要性を強調した。

6. フォール (Ms. Khadijetou Mbarek Fall) AUモーリタニア政府代表部大使は、AMIへの声明の中で、AMIが主導しているこのプロセスを又アクションで開始するに至ったのは、恣意的なものではなく、モーリタニアは最も安全で安定している国の一つであるからであると強調した。閣僚レベルの会合に続く本会合には、20か国以上のアフリカ諸国の代表、これらの分野で活動する多くの機関の代表、平和、安全保障理事会やアフリカ情報事務局などのAUの高官が出席したことを明らかにした。最後に、世界、特にサヘル地域が直面している危機が、近年機能していなかったこれらのメカニズムを活性化させるAUの主な動機であると述べた。

●ガズワニ大統領のアラブ連盟・OIC緊急共同サミットにおける演説及び各国とのバイ会談（11月11日付当地政府系メディアAMI）

1. ガズワニ大統領の演説

(1) パレスチナの人々が今日ガザ地区で耐えていることは、世界の目の前で白昼堂々で行われている組織的な浄化と集団虐殺としか考えられない。甚大な破壊の光景、何千人もの死者、何万人もの避難民と負傷者の中には、女性、子ども、高齢者、非武装の人々が含まれており、偶然にも砲撃を免れたものの、飢えや封鎖、治療を受けられずに命を落とす光景は、人道に対する犯罪の最も悪質な形態の一つである。

(2) 人権の不可侵性はどこにあるのか。尊厳はどこにあるのか。人間の価値や国際法はどこにあるのか。国際社会が、停戦、食料、医薬品、燃料、水などの援助物資を確保するために必要な武力介入に対して消極的なのは非常に残念である。それはあたかも人間の尊厳や権利が立場に応じて、その価値が異なるようである。

(3) アラブとイスラムの人々にとって、パレスチナ問題の重要性と特殊性は、それが民族の権利であると同時に神聖な問題であるという事実によって説明することができる。イスラムの最初のキブラであり3番目に神聖とされるアル・アクサー・モスクを有するパレスチナの人々は、主権を持つ独立国家を樹立するという国際社会の決議により認められた歴史的かつ固有の権利を有している。我々は、アラブ・イスラム諸国として、この2点において神聖さを信じており、OIC憲章第1条において、パレスチナの人々に対して支援を行い、自決権行使による主権国家樹立の実現、そしてアル・クドウス・アル・シャリフの歴史的かつイスラムとしてのアイデンティティ及びその神聖な場所を保持することにコミットしている。

(4) 国際社会が、これらの犯罪と闘い、即時停戦を課し、そして十分な量の必要とされる人道支援を提供するために必要な努力を怠っていることは、もしこうした事態が継続するのであれば、その信頼を失い、宣言したスローガンや原則に対する信頼を損ない、これらの犯罪の共犯者となってしまう。

(5) 我々が取り組むべきは、パレスチナの人々の苦しみを軽減するために個人的にも集団的にも努力を重ねることに加え、国際社会に必要な圧力をかけ、イスラエルを即時停戦に追い込み、包囲網を解除させ、国際的な合法性の決議とアラブ和平イニシアティブに従って、主権あるパレスチナ国家を樹立する和平プロセスの開始に備えることである。この文脈において、我々は、誰もがこの解決策以外のいかなる解決策も絶対的に不可能であることを確信できるよう共に取り組まなければならない。

(6) パレスチナの殉教者に哀悼の意を表し、負傷者の一刻も早い回復を祈るとともに、この臨時首脳会議の結果が、ガザ地区への必要な量の人道支援を可能にし、停戦の承認を早めることに、実際的かつ具体的な形で貢献することを希望する。また、我々の中心的な課題である被占領パレスチナ問題に関わること全てにおいて、全員が団結し緊密に連携し続けることを願う。

2. ライシー・イラン大統領との会談

11日、ガズワニ大統領は、ライシー・イラン大統領と両国間の協力関係の更なる強化、発展の方法、またイスラエル軍によるガザ地区の人々に対する残虐な虐殺及びこの侵略に終止符を打ち人道支援を受け入れる必要性について会談を行った。

3. メンフィ・リビア首脳評議会（PC）議長

11日、ガズワニ大統領は、メンフィ・リビア議長と両国関係の発展や地域・国際問題について会談を行った。

4. イトゥノ・チャド大統領との会談

11日、ガズワニ大統領は、イトゥノ・チャド大統領と二国間関係の強化と地域・国際問題について会談を行った。

5. タミーム・カタール首長と会談

11日、ガズワニ大統領は、タミーム・カタール首長とパレスチナ占領地情勢の進展を始めとした地域的・国際的な問題、兄弟国である両国の関係とその強化方法について会談を行った。

6. オリギ・ンギマ・ガボン大統領と会談

10日、ガズワニ大統領はオリギ・ヌゲマ大統領と安全保障やアフリカ協力を含むさまざまなトピックに加え、二国間協力関係を強化する方法や手段、共通の関心事について会談を行った。

●カタール・ガザ復興委員会攻撃に関する非難声明（11月13日付当地政府系メディアAMI）

1. モーリタニア・イスラム共和国は、本日（13日）のカタール・ガザ復興委員会本部に対するイスラエルによる犯罪的な砲撃を強く非難する。これは、息苦しく不当な包囲にさらされているガザ地区の生活に関わるあらゆるものに対するイスラエル軍の組織的で野蛮な攻撃という黒い記録に加えられるものである。

2. モーリタニア政府は、国際社会に対し、イスラエル占領軍が非武装のパレスチナ人民に対して行っている殲滅戦争の即時停止とパレスチナ人民への緊急援助を提供するための検問所と人道的回廊を開放することを強く要請する。

●メルズーグ外相とウクライナの中東・アフリカ特使との会談（11月19日付当地政府系メディアAMI）

1. 本会談では、共通の関心事項、特にゼレンスキー・ウクライナ大統領からガズワニ大統領に向けたウクライナで開催予定の国際食料安全保障サミットへの出席を要請したことについて議論が行われた。

2. また、双方は在モーリタニア・ウクライナ大使館の開設や、エネルギー、食料安全保障、高等教育・科学研究、漁業等の分野を含む両国間の協力拡大についても議論を行った。

3. なお、今回の訪問は、メルズーグ外務大臣とウクライナ外務大臣との電話会談、及びニューヨークで開催された第78回国連総会のマージンでの両大臣の会談に続いて実施された。

●イスラエル・パレスチナ情勢（人道的休止合意に関するモーリタニア外務省プレスリリース）（11月24日付当地政府系メディアAMI）

1. モーリタニア・イスラム共和国は、捕虜及び被拘禁者交換を目的とした、ハマスとイスラエルによる11月22日のガザにおける（戦闘の）人道的休止合意を歓迎する。

2. モーリタニア政府は、この重要な合意に至るためのカタル、エジプト及び米国の多大な努力に謝意を表明する。

3. モーリタニア政府は、これが完全な停戦、兄弟であるパレスチナ人民に対するイスラエルの残忍な侵略の終結、ガザ地区への即時かつ無条件の人的支援の受入れ及び強制避難民の帰還につながる吉兆となることを期待している。

4. モーリタニア政府は、アラブ和平イニシアティブ、二国家間解決、及びこの分野における正当な国際決議を通じて、東エルサレムを首都とする独立国家パレスチナの樹立を可能にするパレスチナ問題に対する公正、包括的かつ迅速な政治的解決を見出すための協調的な努力の必要性を重視していることを改めて表明する。

●日モーリタニア関係（堀井外務副大臣とガズワニ大統領のバイ会談）（11月27日付当地政府系メディアAMI）

1. 27日午後、ガズワニ大統領は、セネガルの首都ダカールで開催されている第9回アフリカの平和と安全に関するダカール国際フォーラムの-marginで、堀井巖外務副大臣と会談した。

2. 会談の中で、大統領は日本の大臣と共通の関心事や、友好国である両国の二国間関係を発展・強化させる方法について意見交換した。



●ダカール国際フォーラムに際するガズワニ大統領の演説（11月27日付当地政府系メディアAMI）

1. まず始めに、第9回ダカール国際フォーラムに参加するために、友人であり兄弟でもあるサル・セネガル大統領が、自分を快く招待してくださったこと、また、セネガルのテランガの温かい歓迎と伝説的な寛大さに対して、心から謝意を表したい。

2. また、この第9回フォーラムのテーマである「安全保障上の課題と制度的不安定性に対するアフリカの可能性と解決策」の重要性を強調したい。同様に、ダカール国際フォーラムが長年にわたって映し出し続けてきたイメージ、すなわち、自らの課題について社会的、文化的、経済的そしてその背後にあるダイナミクスから考えようとするアフリカの確固たる決意を反映するイメージに敬意を表したい。

3. アフリカはもはや、他国で考案された解決策を待つのではなく、交流、対話、革新を通じて、自力で解決策を築こうと努力している。このフォーラムの成功の大きさは、友人であり兄弟でもあるマッキー・サル大統領の先見性とリーダーシップを見事に物語っている。

4. (1) 我々の大陸における最も顕著なコントラストは、一方では、天然資源、地政学的な位置、若い人的資源といった莫大な潜在的可能性があり、本来であれば平和、安定、発展した地域となるべきであった。他方で、多くの場合、貧困、低開発、治安の悪化、社会的・制度的不安定の蔓延を特徴とする客観的な現実との間にある大きな隔たりである。

(2) アフリカ大陸が直面する深刻かつ多面的な課題や危機に打ち勝つために、このコントラストを克服し、潜在的な資源を具体的かつ効果的な解決策へと変換することが、アフリカ開発の要となる。

5. (1) これらの深刻な危機の中で、治安の悪化と憲法に反した変化は最も壊滅的である。過去10年以上、アフリカ大陸は様々な形態のテロ、社会的、政治的及び民族間の暴力の舞台となってきた。サヘル地域一帯が代表的であるが、そうした暴力は日々広がり、新たな地域に拡大し、国家を不安定化させ、地域全体をコントロール不能に陥れ、暴力的な過激主義や、あらゆる密輸の温床に変えている。

(2) このような暴力は、貧困、貧弱な統治、展望の欠如、社会的緊張、憲法上の正当性の完全な破綻といった要素に端を発することが多い。これら全ての要

因は、互いに影響し合いながら、我々の大陸を低開発、治安の悪化、制度の不安定という悪循環に追い込んでいく。

(3) 国境を越えるという性質、非国家主体との密接な繋がり、社会、経済的要因の複雑さゆえに、テロリストによる暴力は我々の伝統的な安全保障戦略を根底から覆すものである。こうした戦略は、第三国からの侵略の可能性に直面して領土一体性を守ることに主眼が置かれることが多く、今日では、多面的で非対称な安全保障上の課題に対するごく部分的な対応にしかになっていない。アフリカに蔓延する不安と、それに付随する制度的不安定に対処するために我々は、全体の繁栄を保証する持続可能な開発を達成することを視野に入れ、我々の莫大な潜在能力を解き放ち、各国の政治的、社会的及び経済的ガバナンスを改善することにより、革新的な解決策を提示しなければならない。

(4) 実際、長期的に有効であるとされる治安の悪化との闘いは、地球環境を形作る経済的、社会的、政治的側面とほぼ有機的に連帯する形で、安全保障問題に取り組まなければならないことが疑いの余地なく立証されている。

(5) この原則に基づき、モーリタニアは、国防・治安部隊を強化し、現代の非定型暴力の特殊性に対応させようと努めてきた。同時に、持続可能な開発の基礎を築くため、経済システムの抜本的な改革という大枠の中で、貧困と脆弱性との闘い、民主主義制度の強化、基本的自由、法の支配の推進に力を注ぎ、加えて、社会的、政治的ガバナンスの改善にも取り組んできた。

(6) こうして政治現場を落ち着かせ、経済的、社会的、政治的ガバナンスに不可欠な手段として開放性、対話、協議を促進する一方、若者の脱過激派化に取り組み、開放性と寛容の文化の促進に取り組んできた。これまでのところ、治安、安定、社会的結束という点で、その成果は非常に納得のいくものであった。

6. (1) しかし、テロリズムや過激主義の国境を越えた性質に鑑み、隣国の安全が保障されない限り、誰も恒久的な安全を享受することができないことを認識しており、最も直接的な脅威にさらされている隣国（マリ、ブルキナファソ、ニジェール及びチャド）とG5サヘルを立ち上げ、それを中心に数多くの国際的支援イニシアティブを動員し、テロ攻撃を防止し、効果的に対応するための集団的能力も大幅に向上させた。

(2) 確かに、G5サヘルは現在、マリの脱退と、当地における憲法の正当性の破綻により、かなり危機的な局面を迎えている。しかし、G5サヘルは必ず回復し、テロリズムと治安の悪化に対する集団的な闘いは、地域と大陸全体の利益のために、衰えることなく続くだろうと確信している。

7. (1) AUは、平和安全保障理事会（PSC）や、大陸早期警戒システム（C

EWS) やアフリカ待機軍 (ASF) といった多くの支援メカニズムを通じて、その平和と安全保障の構造を通じて、治安の悪化や反憲法的な政権交代と闘っている。また、ECOWAS のような地域経済共同体の枠組みの中で展開された、不安定な情勢と闘うための取り組みを調整するイニシアティブもある。

(2) しかし (これらのイニシアティブが、) 真に効果的であるためには、治安の悪化と不安定化との闘いは、政治的、社会的及び経済的ガバナンスを改善するための多大な努力を伴わなければならない。

(3) AU のアジェンダ 2063 は、持続可能な開発を第一の目標に掲げるが、この目標は、決定的でないにせよ、アフリカにおける「銃器の沈黙 (Silencing the Guns)」を持続的に達成するためには、共有された繁栄を保証する包摂的開発の枠組みの中でのみ合理的な構想が可能であることを示唆している。

(4) この包括的な開発は、経済的・社会政治的ガバナンスの大幅な改善を前提とするものであり、制度的不安定に終止符を打つための主要な条件のひとつでもある。

(5) AU が、1999 年のアルジェ宣言、2000 年のロメ宣言、2022 年のアクラ宣言など、既存の法的文書や多くの宣言・決定を通じ、反憲法的な政権交代との闘いをその主要な目的としてきたことは事実であり、地域経済共同体、とりわけ ECOWAS の取り組みとこの分野における AU の多大な努力に敬意を表する。

8. (1) しかし、このような集団的コミットメントにもかかわらず、我々は今、反憲法的な政権交代の急増を目の当たりにしておりこれは憂慮すべきことであり容認できない。したがって、安定、透明性の中で平和的な権力移譲を確保できる真の民主主義と法の支配を確立するために我々の努力を倍加することが急務である。

(2) そのためには、全ての人々が安寧な生活を送るための条件に平等にアクセスできるようにしなければならない。また何よりも、政治生活を穏やかにし、対話と合意を通じて、社会的差異や民族的敵意を克服するよう努めなければならない。

(3) この文脈で、自分は紛争の予防、管理、解決におけるアフリカ社会が持つ社会資本、知的資本の重要性を強調したい。この社会資本が提供する潜在的な解決策を活用しなければならならず、我々は地域社会、社会指導者、市民社会、主要なコミュニティベースの組織の役割を強化及び評価し、それらから最大限の利益を得なければならない。

(4) 過去に遡り文化や社会モデルのるつぼを探ることは、有意義な道であると自分には思える。全体的に見れば、治安の悪化と制度的不安定は、我々の大陸の

将来を脅かす大きな課題である。しかし、我々の資源の広大さと多様性、そして革新的な解決策を構築する可能性は、これらの課題を克服し、安全保障、民主主義、平和の中で真の繁栄を共有する包括的で持続可能な開発を構築する我々の集団的能力に対する自分の希望を強めるものである。

(5) 自分は、この第9回平和と安全に関するダカール国際フォーラムから生まれる結論と提案が、この点に全面的に貢献することを願う。

● 中国共産党中央対外連絡部代表団のモーリタニア訪問（11月29日及び30日付当地政府系メディアAMI）

1. (1) 29日午後、RAO Huihua 中国共産党中央対外連絡部国際交流センター長を団長とする中国共産党中央対外連絡部の代表団がヌアクショットに到着した。

(2) インサーフ党の招待を受けて来訪した代表団は、ヌアクショット国際空港で、同党のンギッサリ（Mr. Fall N' Guissaly）事務局長の歓迎を受けた。ンギッサリ事務局長には、ムタ・ミント・エル・ハジ（Ms. Moutha Mint El Haj）全国女性委員会会長、ムスタファ・ウルド・ババ（Mr. Moustapha Ould Baba）全国青年委員会委員長、ファティメトウ・ハビブ（Ms. Fatimetou Habib）国民議会副議長、モクタル・ハリファ（Mr. Mokhtar Khalifa）国民議会議員、シダティ・シド・エル・ハイル（Mr. Sidati Sid El Khair）党首副顧問を含む党代表団が同行した。

(3) 2日間のミッションのプログラムには、（インサーフ）党首との会談、中国の経験と中・モーリタニア関係に関する会議等が含まれる。

(4) 中国共産党代表団員は以下のとおり。

・ Mr. JIA Bo 中国指導幹部アカデミー（延安）理事兼対外交流・研修開発部部长

・ Ms. ZHENG Wenjie 中国共産党中央対外連絡部国際交流センター副部門長

・ Ms. HUANG Di 通訳

2. (1) 30日、ヤヒヤ・ウルド・ホルマ（Mr. Yahya Ould Horma）インサーフ党副党首は、Ms. RAO Huihua 中国共産党中央対外連絡部国際交流センター長が率いる中国共産党中央対外連絡部の代表団と会談した。

(2) 中国・モーリタニア友好議員連盟会長で国民議会対外関係委員会委員長のモクタル・ウルド・ハリファ（Mr. Moctar Ould Khalifa）氏はAMI（メディア）に対し、中国代表団の訪問はモーリタニアと中国の2つの与党間の経験の交流の一環であると述べた。

同人は、中国・モーリタニア関係は古くからのルーツがあり、相互の尊敬と尊重

に基づいており、時代から時代へと発展してきたと述べた。また、今回の訪問は、政治的、社会的、経済的に両国にとって前向きで実りあるものになるだろうと強調した。最後に、ウルド・ハリファ氏は、今回の訪問は、本年6月にインサーフ党の代表団が中国を訪問したのを受けてのことであると指摘した。

3. (1) 30日、モーリタニアを訪問中の中国共産党中央対外連絡部代表団は、Ms. Rao Huihua 中国共産党中央対外連絡部国際交流センター長に率いられ、西ヌアクショットのパレ・デ・コングレ（会議場）で、ヤヒヤ・ウルド・ホルマ（Mr. Yahya Ould Horma）インサーフ党（与党第一党）副党首出席の下、「中国モデルによる社会の近代化」と題するセミナーを開催した。

(2) Rao Huihua 中国共産党中央対外連絡部国際交流センター長は、中国社会は1921年の共産党創立後、革命期と戦争期といういくつかの段階を経て、1949年以降、低開発国から世界第2位の経済大国へと変貌を遂げたと指摘した。

(3) 同センター長は、2010年は中国経済の転換期であり、中国経済とアメリカ経済の差は縮まったと強調した。

(4) 同センター長は、与党共産党の政策により、10億4,000万人の中国人が高度な教育システムを推進し、健康保険を提供し、福祉を実現することができたと述べ、巨大な人口が「メイド・イン・チャイナ」のラベルを通じて人類文明全体の進歩に大きく貢献したと指摘した。

(5) 情報技術の分野では、Rao Huihua センター長は、中国を訪れると、すべての取引がモバイル決済で行われていることがわかると強調した。また、「現代中国が誕生して以来70年間、我々は率先して戦争を引き起こすことなく、他国を一歩たりとも侵略することなく、安全と平和の促進を頼りにしてきた」と宣言した。

(6) 中国共産党代表団は、インサーフ党の招待でモーリタニアを訪問している。式典には、多くのインサーフ党幹部と主催者である中国代表団のメンバーが出席した。

【経済】

●石油・ガス・エネルギー会議「アフリカの新たな地平に向けたエネルギー機会の拡大」の開催（11月21日付当地政府系メディアAMI）

1. 概要

（1）会議には、省庁・政府機関の代表者、投資家、国際パートナー、専門家、協力機関、エネルギー訓練学校などが参加し、開会式にはガズワニ大統領が出席。2日間にわたる展示会は、石油、ガス、エネルギー部門を発展させ、利害関係者を動員し、投資環境を改善するための石油・鉱業・エネルギー省の戦略実施の一環である。石油・鉱業・エネルギー省のパビリオンに加え、モーリタニア炭化水素公社（SMH）、モーリタニア鉄鋼公社（SNIM）、BP社など、エネルギー、石油、ガス、鉱業セクターの企業から約30のパビリオンが出展した。

（2）展示会の石油・鉱業・エネルギー省のパビリオンでは、2024年までに液化天然ガス（LNG）を輸出し、2030年までにグリーン水素を輸出し、2050年までにカーボンニュートラルを達成するというモーリタニアのエネルギービジョンが紹介された。参加者はこの地域におけるエネルギー部門の現実と展望、有望な投資機会について議論し、モーリタニアが石油、ガス、再生可能エネルギー、グリーン水素の統合的な地域ハブとなる可能性を評価する機会となった。

2. シュルーカ（Mr. Nany Ould CHROUGHA）石油・鉱業・エネルギー大臣兼スポークスマン

（1）前例のない世界的な景気後退とほとんどの開発指標の低下を招いたコロナ危機、エネルギー価格の高騰、世界中のサプライチェーンの混乱を招いたウクライナ戦争に起因するエネルギー危機など、多くの要因に鑑みれば、エネルギー安全保障は、世界的な課題である。このような状況に直面し、エネルギー安全保障は世界のすべての国、特に多くの国民がエネルギーや関連サービスの不足に苦しんでいるアフリカ地域にとって優先事項である。

（2）エネルギー移行に関して、低炭素水素やその派生のような低炭素エネルギーに徐々に移行している。ガスは他の化石資源よりも低炭素エネルギーであり、天然ガスは移行エネルギーとして知られているため、ガスはエネルギー移行において重要な役割を担っている。

（3）モーリタニアのエネルギー部門に関しては、モーリタニアを再生可能エネルギー、ガス生産・輸出、グリーンスチールのための将来の統合ハブにすることを目的とした統合戦略ビジョンを策定した。同ビジョンは、国のエネルギー安全保障を確保するために2030年までにモーリタニア国民全員の電気へのアク

セスを可能にすること、エネルギー部門を国内経済、地域経済、国際経済の重要な原動力とすることが目的である。

(4) G T Aガスプロジェクトに関しては、このプロジェクトのおかげで、モーリタニアとセネガルはガス輸出国となる。第1フェーズは完成間近であり、2024年までに年間250万トンのLNGを生産する予定である。我々は、共に第2フェーズを開発し、年間250万トンから300万トンのさらなるLNGを生産する見込みである。埋蔵量が80TCFと推定されるモーリタニアのBirAllahについて、2025年に投資に関する最終決定(FID)が下される予定である。

(5) 水素プロジェクトに関しては、モーリタニアは先進的な地位を確保しており、4つの協定が締結され、総生産量は最大85GWに達し、これらのプロジェクトのいくつかを開発するためのフィジビリティ・スタディが始まっており、2027年にパイロット段階の生産を開始する予定である。

(6) 電力へのアクセスに関しては、電力部門を変革する計画の実施は順調に進んでおり、電力へのアクセスは2019年の42%から2023年には56%に増加するという心強い結果が出ている。

3. ビレル (Mr. Gordon BIRRELL) B P社生産・操業担当副代表

(1) 6年前にモーリタニアとセネガルとの大規模なガス開発プロジェクトに着手し、プロジェクトが安全に実施されるよう、両国と継続的に協力している。また、B P社は、使いやすく、接続が良く、環境に優しいエネルギーの提供に努めており、環境の保護・保全に関するあらゆる問題を考慮し、関係当局と協力している。

(2) G T Aプロジェクトの第1フェーズの作業は90%以上完了しており、年間230万トンのガスの輸出が可能であり、B P社は、環境に優しいエネルギーへのアクセスを容易にし、環境に有害な従来のエネルギー源と決別するために努力している。

4. ハメル (Mr. Mohamed HAMEL) ガス輸出国フォーラム (G E C F) 事務局長

経済・社会の発展においてエネルギーが果たす重要な役割について、世界の3分の1の国がエネルギー需要を石炭に依存している。国内及び国際的な優先事項が、環境保全のためにクリーンなエネルギーを得ることが重要であり、そのためには石炭からガスへの利用転換を図り、太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーを導入する必要がある。モーリタニアにはエネルギー源を開発する大きなポテンシャルがあり、ガス需要は高く、ガス採掘への継続的な投資が必要である。

5. イブラヒム (Mr. Omar Farouk IBRAHIM) アフリカ石油生産者機構 (A P P D) 事務局長

クリーンエネルギーに注力することで排出量を削減する必要性を強調する。アフリカ諸国がエネルギー・プロジェクトを発展させるための技術開発に注力することが重要であり、エネルギーなくして発展はあり得ない。

6. クランドル (Mr. Marc GRANDALL) 豪CWP社会長

モーリタニアの天然資源、特にガス、グリーン水素、代替エネルギー分野は重要であり、これらの資源のおかげでモーリタニアは大きな発展を遂げることができる。CWP社は、モーリタニアと協力できることを嬉しく思っており、モーリタニアの発展のために鉱業資源分野での経験を生かす用意がある。これらのさまざまな資源を開発することで、モーリタニアは世界で最も科学的・技術的に進んだ国のひとつになることができるだろう。

7. 南アフリカ・アフリカエネルギー会議所総裁

モーリタニアがこの重要なエネルギー会議を開催するために行った努力を賞賛する。モーリタニアの潜在能力が発揮されれば、モーリタニアの若者や近隣諸国に数多くの雇用機会を提供し、開発分野における多様なエネルギーから利益を得ることが可能になる。

●F' Derick 鉱床開発プロジェクトの礎石式の開催 (11月26日付当地政府系メディアAMI)

1. プロジェクト概要

(1) モーリタニア鉄鋼公社 (S N I M) の鉄鉱石生産量を年間200万トン増加させ、採掘源を多様化し、鉄鉱石生産会社としての地位を強化するもの。24か月以内に完了するプロジェクトの総費用は1億8680万ドルで、約73億ウギアに相当し、S N I Mが融資。

(2) このプロジェクトの一環として、掘削機、トラック、ブルドーザーなど、採掘に必要な機械が導入され、鉄鉱石処理プラントが設置される。このプラントは、破碎・選別用の産業ユニット、鉱石運搬用のベルトコンベヤー網、積載ユニットで構成され、プラントとその付属設備のメンテナンスのための事務所や作業場も併設される。

2. シュルーカ (Mr. Nany Ould CHROUGHA) 石油・鉱業・エネルギー大臣兼スポークスマン

(1) この一連の重要なプロジェクトの立ち上げは、S N I Mの業績を向上させ、国全体、特にこの地域の住民のためにその収入を最大化させるという質的な飛躍を可能にする。これらのプロジェクトは、総額102億ウギア以上がS N I Mにより融資され、S N I Mの鉄鉱石生産量の増加、エネルギー源の改善と多様化を目的としている。

(2) S N I Mの経営が即興的な対応の対象となり、同社の使命と無関係な活動に巻き込まれ、大きくバランスを崩した後、2019年8月1日にガズワニ大統領がS N I Mに対して打ち出した新たな道筋の有効性により、そのバランスの回復につながった。

(3) また、ガズワニ大統領が、鉱業部門の魅力、収益性、経済波及効果の向上、鉱物源の多様化、職人的・半工業的金採掘からの発展という観点から、監督部署に対応を約束して以来、いくつかの面で改革が行われてきた。特に、国の歴史的調査・探査部門、特に国立地質学・鉱物資源研究所(O N R G P M)の再編成は、鉱山会社における国の保有資産の管理に加え、地質学的調査や鉱業振興に関わるあらゆることに関与する。

(4) 国家鉱業戦略の策定、国家と投資家間の信頼回復のための鉱業地籍の抜本的改革、明確で透明性のある手続きの採用、鉱業法の改正の開始、鉱業投資家ガイドの更新、採掘産業におけるローカル・コンテンツのガイドライン法の起草作業など、法的枠組み全体の徹底的な見直しを開始された。この一歩は、非鉄鉱物の価値化や、明日のエネルギー源であるウランやリン鉱石のような重要な鉱物資源、さらにはリチウム、黒鉛、レアアース、コバルト、ニッケルなど、世界が入手を急いでいるその他の戦略的鉱物の開発を通じて、同部門の生産の多様化への移行に道を開くものである。国際鉱業産業透明性イニシアティブが今年、この分野における先進国のひとつとしてモーリタニアに「鉱業産業透明性リーダーシップ」を授与したことから明らかなように、このアプローチが成功を収めていることに大きな満足感を持っている。

3. トレミディ (Mr. Mohamed Vall Ould TLEYMIDI) S N I M総裁

(1) S N I Mが石油・鉱業・エネルギー省の政策と戦略に沿って、このセクターを発展させるための統合的な行動計画を示す野心的な戦略プログラムを準備し、これによりS N I Mは、持続可能な開発に注意を払いながら、生産量の増加、製品の多様化、付加価値の向上、人材の登用、社会サービスのレベルアップを図ることが可能となる。さらに、鉱業やエネルギー分野でも戦略的パートナーシップを確立している。

(2) S N I Mの鉱山は、ある事情によりすでに構造的な操業上の問題を抱えているため、同社はこの戦略を適用して鉱山の状況を評価し始めている。S N I M

はまた、鉱床の状況を改善し、当初の採掘計画により適合するように努めてきた。そのためには、人的資源だけでなく、何よりも採掘設備（機械、大型機材、トラック、ブルドーザー、機関車）への投資が必要であった。

（３）また、ゲルブ第２工場（Guelb 2）の生産目標を妨げていた問題のいくつかが解決された結果、生産量はここ数年で倍増し、今年は２７０万トンに達した。

（４）２０２０年末にガズワニ大統領によって完工式が行われた「ＴＯ１４」地帯の原料鉱石処理プラントは、処理プラントの操業にさらなる柔軟性をもたらし、優良原料の増産に大きな影響を与えた。

（５）ＳＮＩＭは、数十億トンと推定される膨大な鉄鉱石埋蔵量を有し、そのほとんどが磁鉄鉱であり、精鉱や鉄鉱石ペレットの製造に適しており、多くの投資機会を提供している。

４． アフメド（Mr. Hadrami Ould AHMED）ティリス・ゼムール地域首長

（１）国を建設し前進させる大統領の目覚ましい努力を称賛し、これらの大規模プロジェクトを立ち上げることで、我が国は開発と経済成長の達成の障害となっていたモーリタニア北部の最大の課題を克服した。

（２）また、これらのプロジェクトはモーリタニアの経済発展全般、特にティリス・ゼムール州の発展に素晴らしい影響を与える。同州には基本的な天然資源と経済資源があるにもかかわらず、これらの資源がもたらすはずの収益性から直接利益を得ていない。

（３）ズエラートの地域医療センターの建設、水道網の拡張、新鉱山の採掘による悪影響に対する地域住民への補償、ビル・モグレイン（Bir Moghreïn）県の水不足問題の解決などの住民による陳情を提出した。

５． ボラ（Mr. Mohamed Cheikh Mohamed Salem BOLLA）フェデリック（F' Derick）市長

ガズワニ大統領の今回の F' Derick 鉱山操業開始セレモニー出席は、国民及び大統領自身も特別な関心を寄せている社会的弱者のためのプロジェクトを通じて、時代の要請に答えるべく国民経済を発展させるための更なる一石となる。

【文化】

●内田大使：モーリタニア柔道連盟主催審判・コーチングセミナーへの参加

1. 11月25日、内田大使は、モーリタニア柔道連盟主催審判・コーチングセミナーのオープニング・セレモニーに出席した。

2. セレモニーにおいて、内田大使は、モーリタニア柔道連盟と国際柔道連盟双方の交流を通じた柔道家及び柔道連盟の活発な活動により、モーリタニアにおける柔道の普及の機運が高まっていることを嬉しく思う、と述べた。

